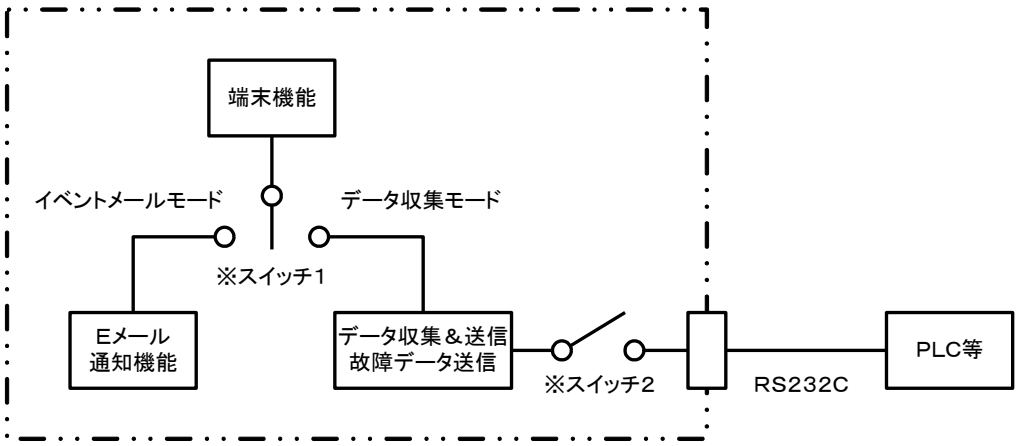
クラウドロガー
取扱説明書

２ - システム構成

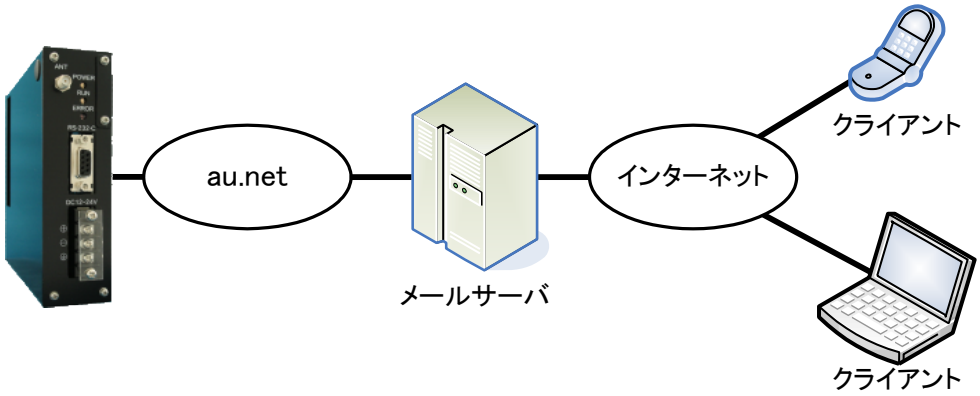
エコモット株式会社

システム構成



※スイッチ１は端末設定ツールでの設定によります。
※スイッチ２の設定はセンターサーバーからの設定によります。

イベントメールモード（単独モード）



Ｅメール配信　※ご使用に際してはメールサーバが必要です。
接点入力８点に対応したメッセージをＥメールにて端末から送信します。
アナログ入力に対して上下限チェックを行い、異常であればＥメールを端末から送信します。
一日に３回、指定した時間にＥメールを送信させることが出来ます。
１メッセージを５箇所まで配信できます。
配信先は１０箇所まで登録できます。

- 携帯電話メールアドレス
- 一般家庭ＰＣ用メールアドレス
- 事業所ＰＣ用メールアドレス

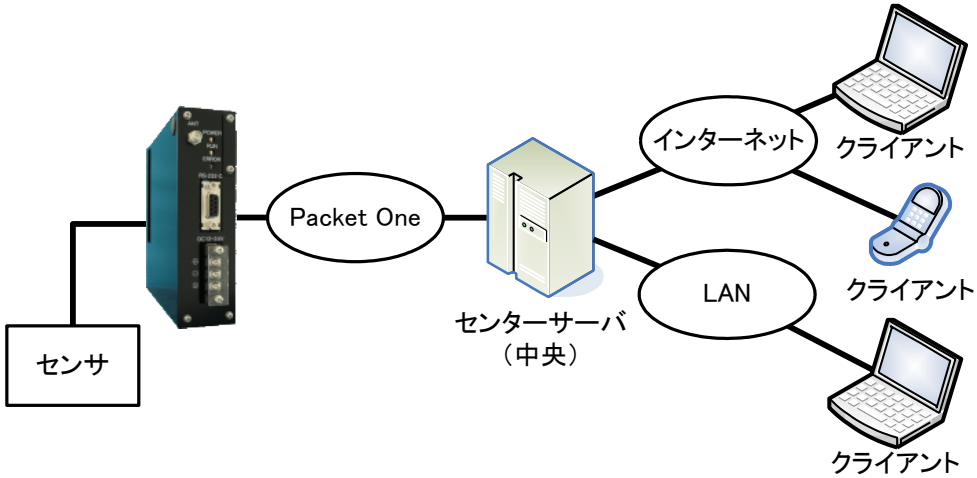
ウェイクアップサービス（オプション）
ウェイクアップサーバーから端末を呼び起こし、いつでも端末の入出力状態を確認することが出来ます。

遠隔操作機能
Ｅメールを受信した携帯電話又はパソコンから端末のリレー出力を制御することが出来ます。
リレー出力により信号のリセットなどが可能です。

データ収集モード（サーバーモード）

サーバーを使用する場合はセンターから端末を呼び出すことができます。
（ＫＤＤＩサービス：CRG サービスを契約する必要があります）

シングル接続



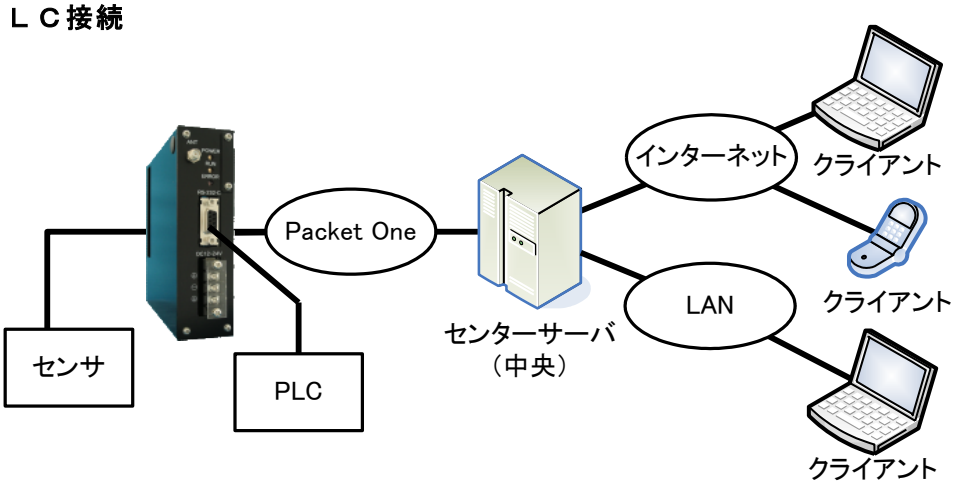
データ収集＆送信

カウンター入力３点（接点入力３bit）分及びアナログ入力４ＣＨデータを設定時間ごとに収集して端末に保存します。
端末内部ではＤＩ、ＡＩを１０秒（ＤＩカウンター時７０ｍｓ）ごとにチェックしています。
送信指定時刻に中央へ採取データを送信します。送信後、端末内保存データはクリアします。

Ｅメール配信

接点入力８点に対応したメッセージをＥメールにて中央から送信します。
アナログ入力に対して中央で上下限チェックを行い、異常であればＥメールを送信します。
１メッセージを５箇所まで配信できます。

ＰＬＣ接続



データ収集拡張システム

ＲＳ２３２Ｃポートにより ＰＬＣとの接続が可能です。

接続ＰＬＣ：オムロン、三菱、キーエンス、その他（接続希望時はご相談ください）

データ収集＆送信

端末データ＋ＰＬＣデータ＝ＭＡＸ１００Ｗ（ワード）分を１回のサンプリングで収集して端末内部に保存します。但しＰＬＣ内部のデータは連続したエリアであることが条件です。

送信指定時刻に中央へ採取データを送信します。送信後、端末内保存データはクリアします。

故障データ送信

故障データ２W使用または４W使用を設定します。

故障データ２W使用の場合、端末接点入力８点＋ＰＬＣ２２点＝３０点分を中央に送信します。設定により３０点分すべてＰＬＣに変更できます。

故障データ４W使用の場合、端末接点入力８点＋ＰＬＣ５３点＝６１点分を中央に送信します。設定により６１点分すべてＰＬＣに変更できます。

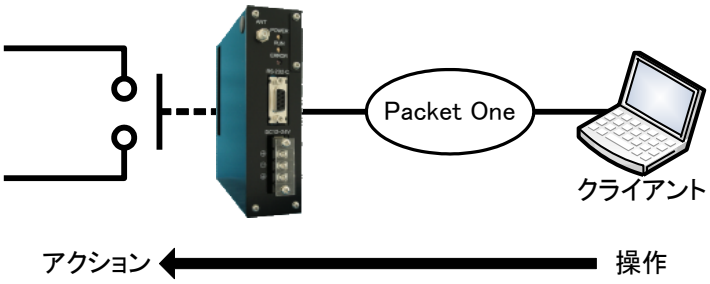
但しＰＬＣ内部のエリアは連続していることが条件です。

中央にて各 bit に対応したメッセージをＥメールにて配信します。

１メッセージを５箇所まで配信できます。

特殊機能（中央からの操作）

システム体系により変わりますがクライアントから操作が可能です。
端末には４点分のリレー出力を装備しております。このリレー動作を遠隔から操作させることができます。(ご使用の場合は照明の点灯などのシステムに重大な事態を起こす恐れのない所での使用をお願い致します)



ＰＬＣ接続時、中央又はクライアントからＰＬＣ内部のデータを変更することができます。変更可能エリアは連続したデータエリアで５０W(ワード）です。係数変更、タイマー変更などが可能となります。(ご使用の場合はシステムをよく理解した方が行ってください)

※　ＰＬＣのデータ読出し書込み可能エリアは機種により異なりますので、ご使用のＰＬＣ取扱説明書に従ってください。

収集データ保存

通信回線等の異常（災害発生時などは接続しにくくなります）時などは中央にデータ送信ができなくなることがあります。この場合でも約６４KW(キロワード）*のデータ保存エリアがありデータを蓄えることができるようになっています。(停電保持も行っております)
通信が再開されれば蓄えたデータを中央へ送信します。また、異常が数週間に及ぶときは端末からパソコンを接続してデータを収集することも可能です。

＊　約６４KW＝約１２８KByte（５０３ページ×２５６Byte)
詳細は『8- サーバーモード 端末設定』のデータバッファーの説明をご参照ください。

時刻管理

ＫＤＤＩ通信網から発せられる標準時刻を常に受信しております。